

SHARP
Be Original.

2017～2019年度 中期経営計画

2017年5月26日

シャープ株式会社
社長 戴正呉

『人に寄り添うIoT』『8Kエコシステム』
実現に向けたトランスフォーメーション

経営基本方針

【抜本的構造改革によるSHARP再生への道筋】

2016年8月21日

社長 戴正呉

経営人材の育成と
チャレンジする企業文化の醸成

守りから攻めへ
構造改革から事業拡大へ

目次

SHARP
Be Original.

- I. 現状認識
- II. 中期経営計画の位置づけ
- III. 中期事業拡大戦略
- IV. 新ガバナンス体制
- V. 事業目標

I. 現状認識

当社の現状

Strength (強み)

- 幅広い事業
- 独自技術
- 商品の独創性
- 革新的なデバイス

Weakness (弱み)

- 商品のラインアップ
- デバイス設備の世代更新
- グローバル展開を支える人材・リソース

強みの
更なる強化

マネジメント
力の強化

鴻海グループ
とのシナジー

当社の狙う事業機会

AIoT、8Kを活用した新事業の創出

AI & IoT

AIを活用した「データ分析（音声/画像等）の高度化」、IoTによる「機器とクラウドの連携」により、新たなサービスが広がる

8Kエコシステム

高精細化によりディスプレイや関連機器の応用範囲が飛躍的に拡大し、様々な新しいビジネスが生まれる

新技術

事業の高付加価値化

グローバル市場

2016年度
TV台数構成比



2016年度
中小型ディスプレイ
台数構成比



技術力・コスト力を活かした事業拡大

II. 中期経営計画の位置づけ

Survival

構造改革

- ① 事業推進体制の強化
- ② コスト競争力の強化
- ③ 成長に向けた布石

Transformation

人に寄り添うIoT

8Kエコシステム

Next 100 Years

持続的成長

2016年度

2017年度

2018年度

2019年度

2020年度～

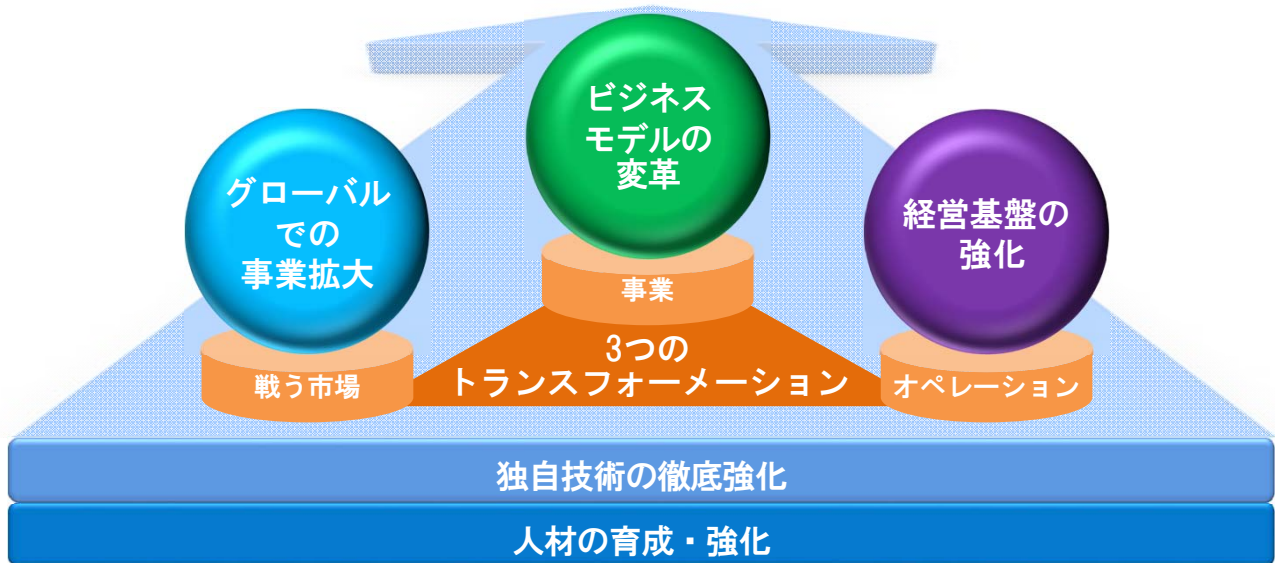
Ⅲ. 中期事業拡大戦略 — 事業ドメイン

4つの事業ドメインを設定するとともに、2つの戦略推進室を新設し、
One SHARPで事業拡大を目指す



基本戦略

『人に寄り添うIoT』 『8Kエコシステム』



AIoTに対応したハードとサービスを拡充
更にプラットフォームまで提供する『スマートホームビジネス』

AIoT機器



AIoTサービス



AIoTプラットフォーム



BLACKSOLAR
GOOD DESIGN AWARD
2015年度受賞

シャープ スマートタウン (仮称) 構想

～ プロジェクトチームを組成、2021年竣工を目指す ～



Be Original.

“Be Original.”の象徴
である創業の地、
田辺ビル敷地を再開発

先端の
スマートマンション

シャープの『AIoT技術』、
野村不動産の『住まい
づくり』をはじめとした、
両社の強みを結集

スマートオフィス
構想を盛り込んだ
複合ビル

最先端技術開発や
グローバル事業拡大、
優秀人材獲得を狙いとした
シャープの中核拠点

人々が
より豊かに暮らせる
スマートタウン

スマートマンションと
スマートオフィスが
相互に連携し、
新たな付加価値を創造

地元大阪への
貢献

様々な可能性を検討し、
これからも地元大阪に、
さらには日本社会に貢献

AIoT

データ収集分析

機器管理

スマートオフィス

いつでもどこでも情報共有
生産性向上
イノベーションの推進



スマートサイネージ

コミュニケーションのビジュアル化
最適な映像空間デザイン
サイネージコンサルティング



スマートリテール

デジタルサイネージインスタアサーサービス
バックオフィスの生産性向上
データ分析による集客力向上



スマートファクトリー

ロボットによる搬送の自動化
物流革新ソリューション
屋外自律走行セキュリティロボット



機器/ICT サービスプラットフォーム

ディスプレイデバイス, 各種センシングデバイス

超高精細映像による
イノベーション

8K

個性・環境と調和した

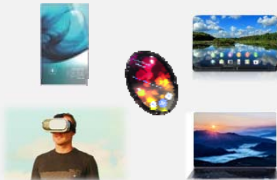
Design

人に寄り添う

AIoT

パーソナル

個性あふれるディスプレイデザイン提案
高い携帯性、低消費電力の実現



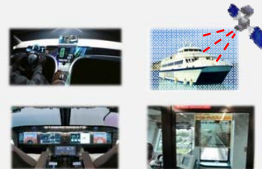
ホーム

8K解像度による「リアリティ」の実現
AQUOSファミリー機器の拡充による
ホームディスプレイの進化



車載/アビオニクス

コネクテッドカー化が進む
車載分野への貢献
IGZO特長によるデザイン性実現



医療/インフラ

ディスプレイ技術応用による
医療分野への貢献
広告・教育・娯楽産業のIoT化、
スマート化に貢献



Technology

高精細技術
(8K / HMD)

デザインフリー技術
(FFD/シースルー/カーブド)

低消費電力技術

ディスプレイ技術応用
(液晶アンテナ/X線センサ/μ流体デバイス)

バックプレーン技術 (IGZO 他)

One SHARPの要として全社事業に貢献
独自デバイスを核に新しいアプリケーションを創出

8Kエコシステム

8Kエコシステム実現に
向けた独自開発デバイス



- ・8K CMOSイメージセンサ & コーデック
- ・8K ビデオプロセッサ & タイミングコントローラ
- ・8K ストレージ

IoT

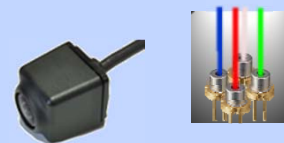
安心・安全・健康・快適な
暮らしを支えるIoTデバイス



- ・センサ(環境/人感/測距 他)
- ・マイクロプロセッシング
- ・イメージプロセッシング

車載

自動車の飛躍的な進化に
貢献する高信頼性デバイス



- ・ADAS
(LiDAR/ToF/車載カメラ/電子ミラー)
- ・R/G/B/IRレーザ

Semiconductor
Technology

オプト技術 : レーザ / CIS・CCD / 光センサ

プロセス技術 : 低オン抵抗 / 低コスト(少マスク)プロセス / 低欠陥 / 低消費電力 / 低ノイズ
カラーフィルター / マイクロレンズ / グローバルシャッター

11

IV. 新ガバナンス体制

監査等委員会設置会社への移行・執行役員制度復活により、
「監督の強化」と「業務執行の機動性強化」を実現

取締役 (9名) 6/20付^{*1}

戴正呉 代表取締役
野村勝明 代表取締役
高山俊明 代表取締役
劉揚偉 取締役(非常勤)
西山博一 新任、取締役
王建二 新任、取締役

呂旭東 新任、社外取締役
車谷暢昭 新任、社外取締役(非常勤)
姫岩康雄 新任、社外取締役(非常勤)

監査等委員

※「非常勤」の注記の無い取締役は全て「常勤」。

執行役員 (12名) 6/1付

戴正呉 (社長執行役員)
野村勝明 (副社長執行役員)
高山俊明 (執行役員)
西山博一 (執行役員)^{*2}
王建二 (執行役員)^{*2} 取締役

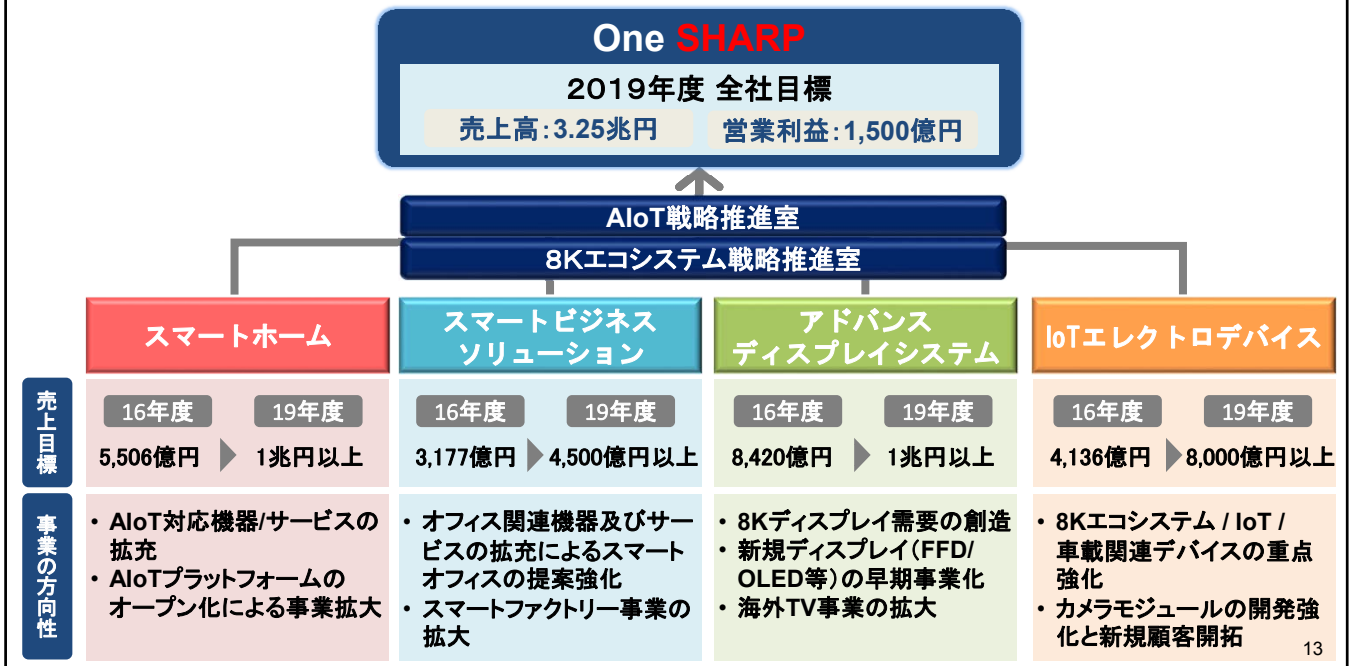
石田佳久 (副社長執行役員)
長谷川祥典 (専務執行役員)
中山藤一 (専務執行役員)
沖津雅浩 (常務執行役員)
橋本仁宏 (常務執行役員)
伊藤ゆみ子 (常務執行役員)
榊原聡 (執行役員)

*1 取締役人事については、6月20日開催予定の定時株主総会及びその後の取締役会・監査等委員会において正式決定される予定。

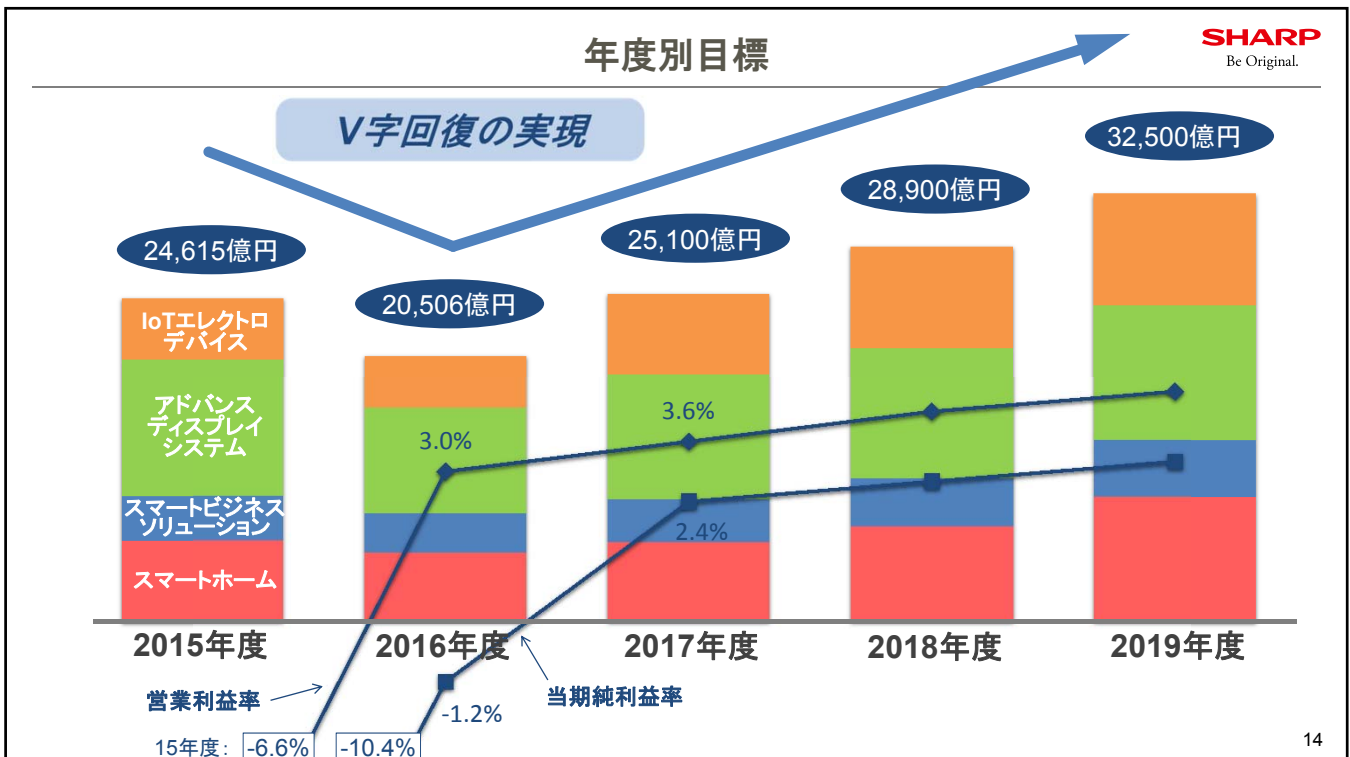
*2 西山博一・王建二の両名は6月20日に就任予定。

12

V. 事業目標



年度別目標



2017 年度 通期 連結業績予想

SHARP
Be Original.

(億円)	上期	下期	通期	前年比
売上高	11,000	14,100	25,100	122.4%
営業利益 (利益率)	370 (3.4%)	530 (3.8%)	900 (3.6%)	144.1%
経常利益 (利益率)	330 (3.0%)	460 (3.3%)	790 (3.1%)	315.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (利益率)	250 (2.3%)	340 (2.4%)	590 (2.4%)	-

15



8KとAIoTで世界を変える



SHARP
Be Original.

16